

令和7年度（2025年度） 今治北高校大三島分校 シラバス

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	学年	第3学年	類型	I型
単位数	2単位	教科書	Joy of Music（教育芸術社）				
補助教材	なし						

学習目標	音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を養う。
------	---

学期	月	単元	学習内容・単元の目標	定期 考査
1 学期	4月	器楽・創作 「ソルフェージュ」	楽譜の読み書きが正確かつスムーズに行えるようにする。	期末考査
	5月	器楽 ギター 「空とぶ宅急便」	ギター演奏の技能を高め、ギター三重奏をする。	
	6月	歌唱 ポピュラーソング	イメージする表現になるよう、工夫しながら個性豊かな歌唱をする。	
	7月	鑑賞 西洋音楽史	ロマン派の音楽の特徴を学び、楽曲を鑑賞する。	
2 学期	8月	合唱 音取り パート練習	曲の特徴を理解しながら、ハーモニーやリズムを合わせて調和のとれた合唱をする。	期末考査
	9月	表現内容と表現方法 歌詞の内容	各パートの役割や全体の響きを考えながら、表現を工夫して混声合唱を楽しむ。	
	10月	全体の調和		
	11月	鑑賞 西洋音楽史	近・現代の音楽の特徴を学び、楽曲を鑑賞する。	
	12月	器楽 アンサンブル	様々な演奏形態による歌や器楽曲の中からグループで楽曲を選択し、表現意図をもって創造的に演奏する。	
3 学期	1月	創作 ストーリーを表現しよう	ストーリーを考え、体を使って発する様々な音を用いた作品を作る。	学年末考査
	2月	鑑賞		
	3月			

学習の方法	歌唱・器楽など、さまざまな経験ができるので、進んで取り組みましょう。多くの人にとって音楽の授業はこれが最後になると思います。様々な楽器や多様なジャンルの音楽にチャレンジしてください。
-------	---

評価の観点	①	知識・技能	②	思考・判断・表現	③	主体的に学習に取り組む態度
		曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽文化の多様性について理解している。 創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。		音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、様々な知識や技能を関連させどのように表すかについて独自の表現意図を深めたり、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりしている。		主体的・協動的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価方法	評価の観点を踏まえ、定期考査・実技試験・提出物・授業態度を総合的に判断して評価を行う。					